

下諏訪自治会

当自治会は、入間川地区の西に位置し、歴史はとても古く、147世帯で組織しています。自治会は6つの部で構成され、行事も多く、活発に活動しています。3年前には、役員を中心にトレッキング部を発足しました。現在では地区内シルバー世代を中心に、約10名の会員で山登りを楽しんでいます。当初は有名な高山に挑戦していましたが、最近は身近な山に登ることが多くなっています。そして下山後は懇親会を行い、コミュニケーションを図っています。

今後の重点課題は、会員全体が自治会行事への関心をより高めていくことです。役員が一丸となって尽力している昨今です。



池原 昭治

さやまの冬

第117話



狭山の屋敷林

冬の堀兼周辺へスケッチに出かけました。

このあたりは、三富の特徴である屋敷畑・平地林を短冊形に区割りした景観がよく残されているところで、四季折々の素晴らしい風景を目にすることが出来ます。ケヤキや白欒杉、ヒノキなどの大木が雄々しく立つ屋敷林は見事なものです。これは、関東特有

の強い季節風を防ぐための防風林だそうです。

特にケヤキは、絵ごころをそそる、素晴らしい樹木で、広葉落葉樹ですから、冬には葉っぱがすべて落ち、その細くこまかい枝ぶりは、青空にも、夕やけ空にもくつきりと浮かびあがり、冬の空とよく似合っています。また、その落ち葉はたい肥の原料として、栄養分の少ないこの地には昔から欠くことのできないものでした。

そして、春は新芽が吹き、白っぽい緑がさわやかです。夏の青々と茂った緑の葉は、暑い日ざしをさえぎり、家のまわりに涼を呼びます。また、秋の紅葉は鮮やかで、眺めていますと、心がほつと温かくなります。四季折々で変化を見せてくれるケヤキ、そして屋敷林は、武蔵野の原風景の一つとして、大切にしたいものです。



わかるかな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月の広報さやまに掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課までにお送りください。
締切り2月28日(当日消印有効)

1月10日号の答え

表紙の写真「こども動物園の日本鶏の撮影会」で鶏のとさかの写真でした。



表紙の写真

1月14日、奥富公民館で繭玉飾りを行いました。繭に見立てた団子を山桑や柏などの枝にたくさん飾り付ける小正月の行事です。当日は、奥富幼稚園の園児38名が地域の人たちが作った紅白の団子で繭玉飾りを完成させました。園児たちは、きれいな飾りを囲んで試食の団子を満面の笑みを浮かべながらほおばりました。